

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

【心理・福祉学部 心理学科】

1

- (1) 書名 居るのはつらいよ：ケアとセラピーについての覚書
- (2) 著者名 東畑開人
- (3) 出版社名 医学書院
- (4) 配架場所 6F 開架閲覧室
- (5) 請求記号 146.8/To23 (資料ID 14003258)
- (6) 推薦コメント

心理学博士で臨床心理士の著者は、苦勞の末、沖縄の精神科デイケア施設に就職しました。そこで気づいた「ただ、いる、だけ」の大切さとは？人の心に寄り添う仕事がしたい、と考えている人には是非読んで欲しい本です。謳い文句は「大感動のスペクタクル学術書」となっています。

2

- (1) 書名 はじめてまなぶ行動療法
- (2) 著者名 三田村仰
- (3) 出版社名 金剛出版
- (4) 配架場所 6F 開架閲覧室
- (5) 請求記号 146.8/Mi58 (資料ID 13736472)
- (6) 推薦コメント

行動療法の歴史、原理、応用、哲学などについて、わかりやすく解説されているので、行動療法に興味を持ち、これから学んでみたいと思う人に最適です。ただし、あくまでも基礎を正しく理解するために書かれた本であり、読めば行動療法が使えるようになるというマニュアルではありません。さらに深く学んでみたいと思った人は、本書が勧めている、より専門的な本を読むことをおすすめします。

3

- (1) 書名 夜と霧 新版
- (2) 著者名 ヴィクトール・E. フランクル[著]／池田香代子[訳]
- (3) 出版社名 みすず書房
- (4) 配架場所 7F 開架閲覧室／自動書庫

(5) 請求記号 946/F44 (資料 ID 13354405, 02618591, 13071969)

(6) 推薦コメント

最近、コロナや世界的な社会不安が、人々の心を暗くしていると言われます。第二次世界大戦時、ユダヤ人としてアウシュヴィッツに囚われ、奇蹟的に生還した著者の「強制収容所における一心理学者の体験」は、絶望の中で、いかに希望を失わずに生きるかを考えさせてくれる名著です。大学時代に是非読んで欲しい一冊です。